「クラブ会長要覧」2011-12年度 未来の夢に関する補遺

「クラブ会長要覧」に加えられた以下の変更は、2010-13年度ロータリー財団の未来の夢計画の試験段階に参加する地区のクラブ用にまとめられたものです。試験段階の終了後には、全地区が修正された未来の夢計画を導入することになります。未来の夢試験地区のロータリー・クラブには、クラブのプロジェクトに利用できる新しい補助金が用意されており、地区にはこれまで以上に多くの権限が与えられます。ロータリー財団補助金の管理に関する指針は、この手引きのほかにも、地区ロータリー財団委員会から入手することができます。未来の夢試験段階の期間中も、ポリオ・プラス、ロータリー平和センター、募金活動、ロータリー財団の各種表彰については、変更はありません。

新しくなった以下の第6章に差し替えてご使用ください。

第 6 章　ロータリー財団

国際ロータリーのロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団はクラブに対して、世界中の人々の生活に実質的な違いをもたらす補助金プロジェクトとプログラムへの参加と寄付の機会を用意しています。ロータリー財団の活動を行うことによって、クラブへの入会希望者が増えるとともに、現会員の退会を防ぐことにもつながります。また、財団プログラムを直接体験した結果、ロータリー財団への寄付意欲が生まれる場合もあります。財団の補助金とプログラムは、ロータリアンをはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者からの自発的な寄付のみで支えられています。

責務

試験地区のクラブ会長エレクトは、ロータリー財団に関する以下の責務を担います。

- クラブ・ロータリー財団委員会を任命し、会合する。
- 効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標を用いて、クラブの現在の財団プログラムへの関与状況を検討する。
- 地区ロータリー財団委員会と協力し、クラブがロータリー財団の補助金の申請資格を満たしていること、また、未完了の補助金を適切に完了させていることを確認する。
- 会員アクセス（www.rotary.org）から、ロータリー財団へのクラブの寄付履歴に目を通す。

お忘れなく

クラブの会長、幹事、会計、ロータリー財団委員長は、www.rotary.org/ja/の「会員アクセス」のページで財団へのクラブの寄付情報を閲覧することができます。

- 効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標ならびにロータリー財団寄付増進クラブ目標報告書式（PETSにて配布、またwww.rotary.orgからのダウンロードも可能）を用いて、会長就任年度の寄付増進とプログラムへの参加の目標を設定する。
- クラブがロータリー財団を支援するのに役立つリソースにどのようなものがあるかを把握する。

財団目標の達成に向けて確実に進歩を遂げていくためには、特にクラブ会長によるリーダーシップが重要です。クラブ目標を支援してもらえるよう、以下のような方法で奨励してください。

- ロータリー財団をテーマとして、会員を鼓舞するような例会プログラムを少なくとも年に4回実施する。
- 地区ロータリー財団委員長に連絡を取り、ロータリー財団の体験談を話してくれる学友、あるいはボランティアを紹介してもらう。
- 新地区補助金とグローバル補助金の受領資格に適ったプロジェクトと活動を計画し、ロータリー財団の新補助金モデルの試行に関与するよう、会員を促す。
- 特にこれまでに寄付を行ったことのない会員を中心に、財団に寄付を行うよう呼びかける。
- 財団プログラムと活動への寄付や参加に対して、会員に感謝の意を示す。
- 財団補助金資金の適切な管理を徹底させる。

お忘れなく

ロータリー財団月間（11月）、世界理解月間（2月）、識字率向上月間（3月）にふさわしい例会や活動を計画してください。

ロータリー財団委員会

5つの常設委員会の1つとして、クラブ・ロータリー財団委員会を設置してください。クラブにおけるロータリー財団委員会の構成は、クラブが定めた財団目標に沿って決めるべきです。例えば、クラブがグローバル補助金の申請を予定している場合は、補助金小委員会を設けるとよいでしょう。

ロータリー財団委員会は、寄付および財団プログラムと活動への参加の両面から財団を支援するための計画を立案、実施すべきです。クラブは、必要に応じて小委員会を追加し、この委員会の具体的な責務を反映させるために細則を改正することができます。

ロータリー財団委員会を任命する際には、優れたコミュニケーション能力を備え、国際的な経験と国内外におけるボランティアの経験を有するロータリアンを選びましょう。また、過去のプログラム参加者も候補者として適しています。

クラブのロータリー財団委員会には以下の責務があります。

- 年度のクラブ財団目標を達成する。
- 財団に関して会員に理解してもらう。
- 財団補助金プログラムと活動に参加すると同時に、財団を財政的にも支援するようクラブ会員に奨励する。
- 地区およびロータリー財団管理委員会の財団目標をクラブ会員に伝える。
- 財団補助金資金の適切な管理を徹底させる。

お忘れなく

クラブ・ロータリー財団委員会に関する詳細は、未来の夢用「クラブ・ロータリー財団委員会の手引き」に掲載されています。

ロータリー財団に関する地区からの支援

地区ロータリー財団委員会の委員から、ロータリー財団に関して指導を受けたり、同じようなプロジェクトを実施している他のクラブを紹介してもらうことができます。ロータリー財団に関しての質問は、地区ロータリー財団委員長までお寄せください。

地区ロータリー財団セミナー

地区ロータリー財団セミナーの目的は、世界理解と平和を達成するというロータリー財団のメッセージをあらゆるロータリアンに伝えることです。クラブ会長、クラブ財団委員会委員、その他関心のあるロータリアンは、財団についてさらに学ぶため、このセミナーへの出席が奨励されています。

補助金管理セミナー

補助金管理セミナーの目的は、クラブ会員が、参加資格について理解し、補助金を効果的に管理し、補助金の使途を監督できるようにすることです。このセミナーでは、ロータリー財団への寄付によって支えられている資金を管理するのに十分なシステムが備わっていることを確認するためのベストプラクティスに焦点が当てられます。クラブがロータリー財団補助金資金を受領する資格を得るには、クラブから少なくとも1名の代表がこの研修に出席し、覚書（MOU）に同意し、署名する必要があります。地区は、クラブに対し、追加の資格条件を設けることができます。例えば、新地区補助金の受領にもクラブが資格を満たす必要があるという追加条件を設けることも可能です。補助金管理の手引きは、www.rotary.org/ja/fvdistrictからダウンロードしてご覧いただけます。

ロータリー財団の補助金とプログラム

財団が進化と前進を遂げ、その使命を果たしていけるよう、ロータリー財団管理委員会は、未来志向の長期的アプローチである「未来の夢計画」を採択しました。多くのロータリアンからの意見に基づき、未来の夢計画は以下を目的として立案されました。

- 財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- ロータリアンが重要だと考える世界の主要なニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できる奉仕活動に焦点を絞ること。
- 世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- 意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

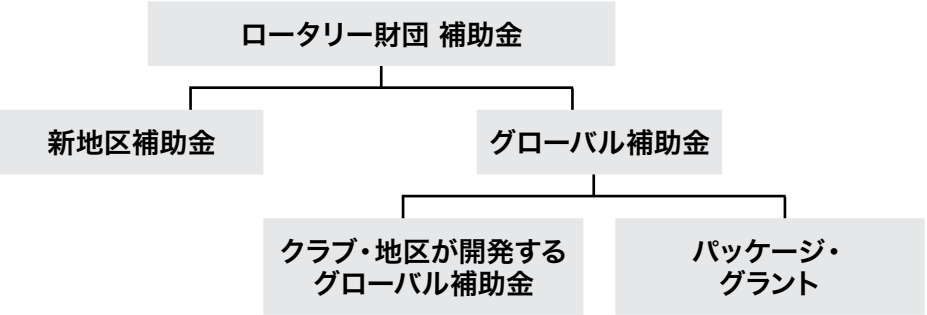
未来の夢計画の今後の予定。100の地区が未来の夢計画試験段階に参加しています。

- **2010-11年度：**クラブは、ロータリー財団補助金の受領資格を満たすために、地区ロータリー財団委員会と協力する。資格が満たされたら、クラブと地区は補助金の申請を開始する。ロータリー財団は、試験地区とそのクラブに対して補助金の支給を開始する。
- **2011-12年度：**ロータリー財団は、試験地区とそのクラブに補助金を支給する。
- **2012-13年度：**財団は、試験地区に補助金を支給する。試験地区からのフィードバックを基に、必要に応じて補助金モデルに調整を加える。すべてのクラブが研修を受け、資格認定を得る。
- **2013-14年度：**全世界で新しい補助金の利用を開始し、従来からの財団プログラムを廃止する。

お忘れなく

未来の夢計画に関するご質問は、Eメール（futurevision@rotary.org）でお問い合わせいただくか、ウェブサイト（www.rotary.org/ja/fvclub）をご参照ください。

新しい補助金構成。新しい補助金モデルの下、財団は、「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類の補助金を提供します。グローバル補助金には、クラブと地区が立案したプロジェクトへの補助金と、パッケージ・グラントの2つのオプションがあります。新地区補助金とグローバル補助金の授与と受諾の条件をご参照ください。



地区内における新地区補助金の申請手続きについては、地区ロータリー財団委員長に問い合わせてください。

新地区補助金は、クラブと地区が、ロータリー財団の使命に沿った特定の奉仕分野で、地元や海外の地域社会の緊要なニーズに取り組むことを可能にするものです。この補助金の管理・運営は、地区が行います。クラブがプロジェクトの資金を地区に要請し、地区が、財団に申請する新地区補助金の金額を決定します。地区は、毎年、一口の新地区補助金を受領する資格があり、補助金の受領後、地区がクラブに資金を支給します。

事例

地元の3つの小学校に新しい辞書を寄贈するため、クラブが3,000ドルを地区に申請する。

夏休みの短期留学プログラムに参加する地元高校生に奨学金を授与するため、クラブが2,500ドルを地区に申請し、これを授業費に充てる。

台風の被害を受けた村に、道具や食糧を提供し、現地にロータリアン3名を派遣するため、クラブが12,000ドルを地区に申請する

グローバル補助金は、財団からの大きな支援の下、長期にわたって持続可能な活動に参加する機会を提供するものです。この補助金は、財団の使命に関連する6つの重点分野のいずれかにおいて、多大な影響をもたらす持続可能で大規模なプロジェクトに資金を提供します。

- 平和と紛争予防／紛争解決
- 疾病予防と治療
- 水と衛生設備
- 母子の健康
- 基本的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

クラブと地区は、重点分野の範囲内で独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができます。または、協力組織と合同で財団が立案した長期的なプロジェクトを支援するためにパッケージ・グラントを選ぶこともできます。

クラブまたは地区が立案したグローバル補助金では、予算が少なくとも30,000米ドルのプロジェクトに対し、WF（国際財団活動資金）から最低15,000米ドルが授与されます。DDF（地区財団活動資金）に対しては100パーセント、現金拠出に対しては50パーセントが、WFから組み合わせて支給されます。グローバル補助金は、2つのクラブまたは地区（実施国協同提唱者と、実施国外の援助国協同提唱者）が提唱したものでなければなりません。実施国、援助国の双方の提唱者は、未来の夢計画の試験地区（または試験地区内のクラブ）である必要があります。

グローバル補助金の申請書を提出する前に、提唱者であるロータリアンは、活動内容と期待される成果を記述した提案書を、ロータリー財団に提出する必要があります。提案書が承認された後、クラブまたは地区は、6カ月以内にオンラインで申請書を提出することとなります。財団に提出する前に、申請書には地区ロータリー財団委員長の承認が必要です。

事例

複数のクラブが合同で、ロータリアンの医師6名とロータリアンのチームリーダー1名から成るチームをナイジェリアに派遣しようと考えています。このチームは、母子の医療について視察し、都市部および僻村部の病院で、現地の医師に新しい医療技術について研修する予定です。この旅行とクリニックの医療品の費用は、15,000ドルです。病院での研修の後、ロータリアンの医師たちは、母国のクラブの会員およびナイジェリア現地のクラブ会員たちとともに、僻村部の医療センターに母子の健康キットを配布します。このキットが正しく使用されるよう、ロータリアンの医師たちは、僻村部の医療従事者を対象に基本的な研修を行い、この費用に15,000ドルがかかります。予算が30,000ドルのプロジェクトに対し、クラブはDDFから15,000ドルを使い、ロータリー財団はWFから15,000ドルを上乗せして提供します。

あるクラブは、熱帯病の予防と治療について学ぶために海外の大学院に留学する学生のために、奨学金を提供します。学費、旅費、宿舎の費用は合計42,000ドルです。クラブは、大学が所在する地区内のクラブと協同して、合計予算42,000ドルのプロジェクトを財団に申請します。派遣地区がDDFから21,000ドルを拠出し、財団がこれに21,000ドルのWFを上乗せします。

以前にグアテマラで井戸プロジェクトを援助したことのあるクラブに、現地の人々から、地元事業を立ち上げ、維持するための研修プログラムの実施を手伝ってほしいと依頼がありました。研修資料、備品、8人のロータリアンの旅費のための費用が必要とされています。これらのロータリアンは、グアテマラで1カ月間、地域社会の人々100人に研修を提供します。また、これらのロータリアンは、マーケティング費用、商品の在庫管理、その他の関連ニーズなど、地元事業の立ち上げのための初期投資も提供します。プロジェクトの終了後には、グアテマラのロータリアンが現地事業との連絡を保ち、必要に応じて事後の視察や研修を行います。このクラブがDDFから60,000ドルを寄贈し、財団がこれに60,000ドルのWFを上乗せすることで、プロジェクトの合計資金は120,000ドルとなります。

パッケージ・グラントとは、財団とその協力組織が立案するものです。この場合、財団からのWF（国際財団活動資金）と協力組織からの資金によって必要資金の100パーセントが提供され、ロータリアンが補助金プロジェクトの実施にあたります。パッケージ・グラントの選択肢は、利用が可能になり次第、会員アクセスに掲載されることになっています。

資金管理と参加資格。全補助金の提唱者は、会計の監督責任を果たし、ロータリー財団補助金資金を適切に管理する意思を明確に示さなければなりません。資金の管理には「四つのテスト」を反映させ、以下を含めるようにします。

- プロジェクトの詳細な計画
- 必要書類と、正確かつ不備のない申請書の提出
- プロジェクトへのロータリアンの直接的な参加
- すべての財務処理における透明性の維持
- 報告書の期日通りの提出

資格を満たしたクラブは、グローバル補助金を申請することができます。資格を満たすには、クラブは以下を行なわなくてはなりません。

- 少なくとも1名の会員をクラブから、地区ロータリー財団補助金管理セミナーに派遣する。
- クラブの覚書（MOU）に署名し、その条項を順守する。
- 地区が定めたそのほかの資格要件に従う。

補助金の管理に関する情報は、補助金管理の手引きをご参照ください。

お忘れなく

資格認定に関する詳細は、www.rotary.org/ja/fvdistrictでご入手いただくか、fvqualification@rotary.orgでお問い合わせください。

ポリオ・プラス。国際ロータリーと財団が一体となって取り組むプログラム、ポリオ・プラスは、ポリオの撲滅を目標とする、ロータリーで最もよく知られているプログラムです。100万人以上の世界中のロータリアンが、ポリオ・プラスに8億米ドルの寄付を行ってきました。さらに、ロータリアンは、診療所を支援したり、予防接種のために地域社会の人々を動員したり、その他のポリオ撲滅活動に参加するなどして、地元レベルにおけるボランティアの強力なネットワークとして奉仕しています。

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から総額3億5,500万ドルの補助金が、2度に分けてロータリーに授与されました。これを受けてロータリーは、この補助金に上乗せするための2億ドルを集めることを約束しました。4カ国を除く全世界でポリオウイルスが撲滅された現在、ポリオ・プラスに対するロータリー・クラブの活動の大部分は、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の達成を目指した募金活動に向けられています。

各クラブも、以下のような方法で、世界からポリオを撲滅するという目標の実現に貢献することができます。

- ロータリーの2億ドルのチャレンジに向けた募金活動を一般の人々を対象に行い、ポリオ撲滅に取り組むロータリーの活動について人々の認識を高める。
- ポリオ常在国における緊要なポリオ撲滅のニーズのために、ロータリーのチャレンジに寄付する。
- クラブ例会でポリオ撲滅を主題とするプログラムを実施する。
- ポリオのない世界が証明されるまで、クラブ会員がポリオ撲滅の現状を把握し、活動に参加するよう確認する。

ポリオ常在国のクラブは以下のような方法で撲滅活動に貢献できます。

- 監視活動に協力するため、国別ポリオ・プラス委員長と連絡を取る。
- ポリオやその他の病気についての高い予防接種率を維持するため、地元の保健員と力を合わせる。

ロータリー平和センター。平和および紛争解決の分野に関する国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラムは、国際関係、平和研究、紛争解決などの関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決の分野の専門能力開発修了証の取得を目指す人に、ロータリー平和フェローシップ（奨学金）を提供するものです。このプログラムは、試験地区とそれ以外の地区で同じ方法で運営されます。

クラブは、地区ロータリー財団委員会にロータリー平和フェローシップ候補者の申請書を提出することができます。提出の締切日に関する情報は、地区ロータリー財団委員会にお問い合わせください。ロータリー財団に申請書を提出する締切日は、7月1日必着となっています。

ロータリアンは、フェローシップ受領者の選考、オリエンテーション、受け入れに関与します。クラブは、さまざまな方法で参加することができます。

- 現在のロータリー平和フェローまたは元フェローをクラブ例会に招待し、体験について話してもらう。
- ロータリー平和フェローの候補者を地区に推薦する。
- フェローのホストまたはカウンセラーを務める。

財団学友との協力。1947年以来、118,000人以上の人々がロータリー財団プログラムの奨学金や補助金を受領しています。地元で財団プログラムに参加したことのある学友は、ロータリー財団の力強い賛同者であり、クラブに入会したり、ロータリー財団への寄付者となる可能性もあるため、学友との関係を維持することが大切です。学友はまた、以下のような方法でクラブを支援することができます。

- 他国のロータリー・クラブ同士が協同で奉仕プロジェクトを実施したり、親睦を図ったりする際の懸け橋となる。
- 財団プログラムがいかに人生を変えたか、その体験談をクラブ会員やメディアに伝える。
- ほかの人にプログラムの機会を推進する。
- 選考、オリエンテーション、受け入れについて助言する。
- クラブ会員となる。

地区会員増強委員長に連絡を取り、地元の財団学友をクラブの活動に招き、参加してもらう方法について検討してください。

シェアおよび地区財団活動資金（DDF）。シェア・システムを通じて、ロータリー財団への寄付は、新地区補助金、グローバル補助金、その他の形に姿を変えます。また、シェアを通じて、財団プログラムに関する決定手続きに世界中のロータリアンが関与することが可能になります。寄付金をどのように使用するかを決定する自由を寄付者に与えている財団は、ロータリー財団だけです。

地区内の全ロータリー・クラブから寄せられた年次プログラム基金への寄付は、毎ロータリー年度末に、次の2つの基金に分けられます。

- 50パーセントがWF（国際財団活動資金）へ
- 50パーセントがDDF（地区財団活動資金）へ

財団は、WF（国際財団活動資金）からの資金を、全ロータリー地区が利用できる世界的なプログラムのために使用します。地区は希望する財団の補助金とプログラムに充当するためDDF（地区財団活動資金）を使用します。

財団独自の資金周期では、地区からの寄付が3年後にプログラムのために使用されます。この3年周期によって、地区はプロジェクトの計画や参加者の選考のための時間が持て、財団は寄付金を投資することができます。一方、管理運営費全般と寄付増進経費は投資による収益で賄われます。

地区ロータリー財団委員会には、地区内クラブと相談の上、地区が使用できるDDFの使途を決定する責務があります。詳細については、地区ロータリー財団委員長までお問い合わせください。

ロータリー財団への寄付

世界各地から

世界の一部では、独自の寄付・送金明細書を使用して財団に寄付を行っているクラブがあります。日本では特別な寄付申込書・送金明細書が用いられています。

ロータリー財団プログラムの財源は、世界中のロータリアンからの任意の寄付によって成り立っています。ロータリアンは、教育的、職業的、人道的プロジェクトの大きな成果を実感できたとき、より良い世界を築くにはロータリー財団への財政的な支援が不可欠だということを理解します。財団に寄せられた寄付は、年次プログラム基金、恒久基金、ポリオ・プラス基金のいずれかに指定されます。

財団へのご寄付は、RI日本事務局が用意している「寄付・送金明細書」をご使用ください。

ポリオ・プラス基金・ロータリーの2億ドルのチャレンジ。現在、ポリオとの闘いで最も懸念される課題は資金の確保です。既に莫大な資金が投入されていますが、ポリオ常在4カ国の子供たちすべてに引き続き予防接種を行っていくためには、さらなる資金が緊急に必要とされています。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、ポリオ撲滅に対するロータリーの固い決意と、その世界的なボランティアのネットワークを高く評価し、総額3億5,500万米ドルの補助金を2度に分けてロータリーに提供しました。これを受けて、ロータリーは、2012年6月30日までに2億ドルを独自に集めることを目標として掲げました。国際ロータリーの拠出金とゲイツ財団の補助金を合わせると、「ポリオのない世界」というロータリーの最優先目標へ向けて、5億ドルを上回る資金が提供されることになります。

ロータリアンは、ポリオ撲滅のための「ロータリーの2億ドルのチャンレンジ」の達成に向けて、ポリオ・プラス基金へ寄付を行うよう奨励されています。またクラブは、ポリオ・プラスへの支援として特別な募金活動を行うよう呼びかけられています。ポリオ・プラス基金を通じて支給される補助金は、全国予防接種日や監視活動のために活用されます。

年次プログラム基金。年次プログラム基金は、ロータリー財団の補助金プログラムと活動の主な資金源です。ロータリアンは、毎年ロータリー財団へ寄付を行うよう奨励されています。以下の方法で「毎年あなたも100

お忘れなく

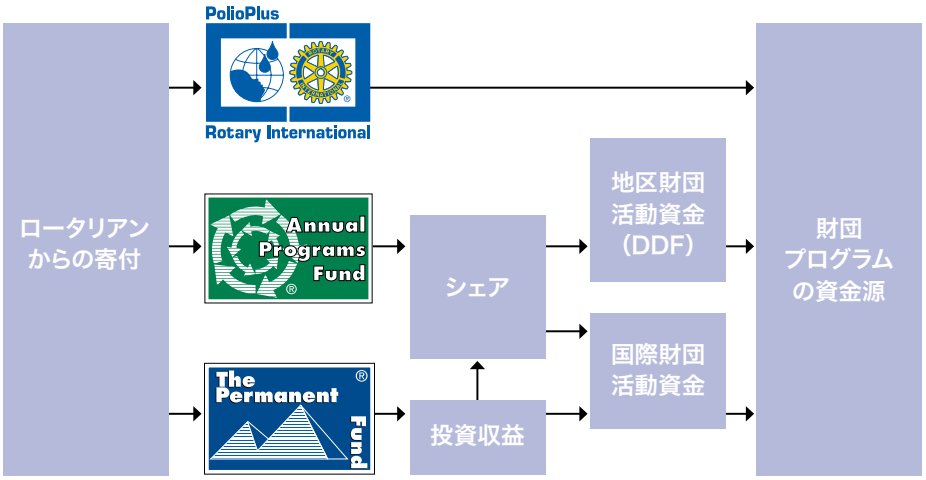
www.rotary.orgの「会員アクセス」を通じて、クラブ・ロータリー財団委員長がロータリー財団の各種報告書や認証報告書を閲覧できるようになりました。このアクセス権を与えるのは、クラブ会長もしくは幹事です。

ドルを」推進計画を支援してください。

- ロータリー年度の早い時期に財団に寄付する。
- 毎年、すべてのクラブ会員が寄付を行うよう働きかける。
- 年次プログラム基金への寄付が、世界をより良い場所にするための財団の補助金プログラムと活動をどのように支えているかを、会員に伝える。
- ロータリー財団を支援した人々を表彰する。

恒久基金。恒久基金はロータリーの基金であり、元金には一切手をつけることなく、その収益の一部のみが財団の補助金プログラムと活動のために使われます。恒久基金へは、大口寄付、証券、遺贈、終身年金契約といったかたちで寄付することができます。多くのロータリアンは多額の寄付を恒久基金に寄せています。ロータリー平和センター・プログラムへの支援を希望するロータリアンは、恒久基金を通じてこのプログラムに寄付を行うことができます。ロータリー財団へ大口寄付を行うことができる会員をご存知の方は、地元担当のロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）またはロータリー財団地域コーディネーター補佐（RRFC補佐）までご連絡ください。

ロータリー財団の資金源



地域社会からの資金。財団への寄付の大部分はロータリアンから寄せられていますが、地域社会の人々も募金活動や個人的な財政支援を通じて寄付を行っています。クラブやロータリー財団への支援を地域社会に呼びかけるための募金活動を計画するのも一案です。募金活動についての詳細は、「クラブ奉仕プロジェクト委員会の手引き」の募金活動のページをご参照ください。

寄付の認証。寄付者に対して誠意を込めて感謝の念を表すことは、将来のさらなる財政支援を促す第一歩となります。寄付者への感謝を伝える方法として、ロータリー財団では表彰や認証の機会を設けています。

ロータリー財団における認証

個人に対する表彰・認証	クラブに対する認証
「財団の友」会員	100パーセント「財団の友」会員クラブのバナー（毎年贈呈）
ポール・ハリス・フェロー	「毎年あらたも100ドルを」バナー（毎年贈呈）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	年次プログラム基金1人当たり寄付額の上位3クラブ表彰バナー（地区に毎年贈呈）
記念寄付・追悼寄付	100パーセント・ポール・ハリス・フェロー・クラブのバナー（要請に応じて進呈）
メモリアル・ポール・ハリス認証状	
アーチ C. クランフ・ソサエティ	
大口寄付者	
ベネファクター	
年次プログラム基金表彰バナー	
ロータリー財団遺贈友の会	
感謝状（企業に対して贈ることも可能です）	

認証に関する詳細は、ウェブサイト（WWW.ROTARY.ORG）で「寄付者の認証」と入力して検索してください。

リソース

事務局の職員、ならびにRIと財団の役員および被任命役員の連絡先は、「公式名簿（Official Directory）」とウェブサイト（www.rotary.org）に掲載されています。RIの出版物は、www.rotary.org/downloadlibrary（画面下の「日本語」をクリック）からダウンロードするか、shop.rotary.org、shop.rotary@rotary.org、日本事務局を通じてご注文いただけます。財団目標の達成に以下のリソースをお役立てください。

人材

- 地区ロータリー財団委員会：地区のロータリー財団活動全般を監督する責務を担当します。
- ポリオ・プラス委員会：ポリオ撲滅活動へのロータリーの参加に関して、国際、国内、地域、地元レベルで顧問を務める。
- ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）：ロータリー財団全般に関して、地区とクラブを援助するために任命されたロータリアン。
  - ロータリー財団地域コーディネーター補佐：年次寄付、大口寄付、プログラムへの参加に関して、RRFC、地区、クラブを支援します。
  - ロータリー財団学友コーディネーター（RFAC）：財団プログラムの学友とのつながりを再び築き、学友に財団の活動に参加してもらう目的で、ロータリー財団地域コーディネーター、クラブ、地区を援助します。
  - ゾーン・チャレンジ・コーディネーター：ポリオ・プラス基金およびロータリーの2億ドルのチャレンジへの募金活動に向けて、ロータリー財団地域コーディネーター、クラブ、地区を支援します。

- ロータリー財団職員：ロータリー財団プログラムおよび寄付増進に関与しているロータリアン、クラブ、地区に支援を提供するRI世界本部ロータリー財団、またはRI日本事務局の職員。
- ロータリー財団お問合わせセンター：ロータリー財団職員が財団に関する質問をEメール（contact.center@rotary.org）で受け付けています（英語による問い合わせのみ）。

情報資料

- 新版未来の夢計画に関するクラブ・ロータリー財団委員会の手引き（226E-FV-JA）：委員会の役割と任務の概要に加えて、利用できるリソースが説明されています。
- End Polio Now（今こそポリオ撲滅のとき）ニュースレター：世界的なポリオ撲滅活動ならびにロータリーの2億ドルのチャレンジに向けての募金活動の現況を伝える隔月のニュースレター。
- 未来の夢試験段階のニュースレター：未来の夢の予定、新しい研修資料、ヒント、ベストプラクティスに関する毎月の最新情報。
- 「毎年あなたも100ドルを」クラブ・サクセス・キット（958-JA）：年次プログラム基金への寄付とプログラムへの参加を推進するにあたり、ロータリー・クラブが活用することのできるパンフレット、ステッカー、指針が収められています。
- Gift Acceptance Policy Manual（寄付受理の指針に関する手引き）：恒久基金などロータリー財団によって受理される寄付の種類の概要。
- 「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」のロータリー財団のページ：ロータリー財団の目標を定める際に用いる、クラブの査定や目標設定のための資料。
- ロータリーの2億ドルのチャレンジ・パンフレット（986-JA）：ポリオ撲滅に対するロータリーの懸命な取り組みについてロータリアンおよびロータリアン以外の支援者に伝えるとともに、ロータリーの募金チャレンジへの支援を呼びかけるものです。
- ロータリー財団携帯用カード（159-JA）：最新の財団の統計的な概要を記したポケット型のカード。
- 国際ロータリーとロータリー財団の年次報告（187-JA）：年末の財務データおよび卓越したプログラムの功績。
- RIウェブサイト（www.rotary.org/ja/fvclub）：財団年次報告書、財団の目標、プログラムに関する情報が掲載されています。
- www.rotary.org/ja/futurevision：未来の夢計画に関するロータリー財団からの最新情報

資金源

- 個人の寄付者または地元事業からの寄付金
- グローバル補助金と新地区補助金
- クラブの財団
- クラブの募金活動

討論のための質問

会長エレクト研修セミナー (PETS) に備え、以下の質問について考えてください。

現在、クラブはロータリー財団のどの補助金とプログラムに参加していますか。

クラブはなぜ年次プログラム基金と恒久基金の両方を財政的に支援する必要があるのでしょうか。

地区はロータリー財団にどのように参加していますか。

地元の地域社会は、どのような方法でロータリーの2億ドルのチャレンジを支援することができますか。

ロータリー財団の補助金プロジェクト、プログラム、募金を推進するための方策で、クラブが成功を収めたのはどのようなものですか。

ワークシート1：まとめ

メモ

ロータリー財団

学んだこと

これから実行すること

連絡先

配布資料2：クラブの覚書（MOU）

（RIウェブサイトから「クラブの覚書」と入力して検索）

PETS用

ワークシート3：ロータリー財団の補助金とプログラム

ロータリー財団の各補助金とプログラムに関する情報に目を通してください。グループで各補助金とプログラム分野の質問について話し合ってください。

ポリオ・プラス	国際ロータリーと世界ポリオ撲滅推進計画における主要協同機関（世界保健機関、ユニセフ、米国疾病対策センター）による予防接種活動を支援する。具体的な支援には、進捗状況をロータリアンに伝えること、正確なメディア報道の推進、全国予防接種日に参加するボランティアへの支援、ポリオ常在地域および高リスク地域に必要な援助の提供などがある。

1. クラブで一度もポリオ・プラスを支援したことがない場合、どのようにしてプログラムについて知ることができるでしょうか。

2. クラブと地域社会でどのようにしてポリオ撲滅についての認識を高めていきますか。

3. クラブ会長就任年度のポリオ・プラス目標は何ですか。

新地区補助金	クラブと地区が、特定の関心に応じて地元や海外の緊要なニーズに取り組むことを可能にする補助金。地区に一括で支払われ、クラブはその一部を受領するため、地区ロータリー財団委員会に申請し、審査を受ける。手続きは地区によって異なるため、地区の方針については、地区ロータリー財団委員長に確認を取る必要がある。地区は、地区の資金の一部をこれらの補助金の支援に充てることができる。

1. 新地区補助金の受領条件を満たすクラブ・プロジェクトを決める際、どのようにして会員のコンセンサスを得ますか。

2. 新地区補助金資金の申請とプロジェクト実施の手続きをどのように管理しますか。

3. 地域社会（海外または地元）の人々に、どのようにしてプロジェクトについて知らせますか。

グローバル補助金	6つの重点分野のうちの1つにおいて、多大な影響をもたらす持続可能な大規模プロジェクトを支援。マッチング・グラントと同様の形で財団が管理する。 重点分野 • 平和と紛争予防／紛争解決 • 疾病予防と治療 • 水と衛生設備 • 母子の健康 • 基本的教育と識字率向上 • 経済と地域社会の発展 クラブと地区は、重点分野の範囲内で独自のグローバル補助金プロジェクトを立ち上げることができる。また、協力組織と合同でロータリー財団が立案した長期的なプロジェクトを支援するためにパッケージ・グラントを選択することもできる。 クラブと地区が開発したグローバル補助金プロジェクトの資金は、提唱者（スポンサー）からの拠出金と、それに対する国際財団活動資金（WF）からの上乗せ資金によって調達され、プロジェクトの資金は少なくとも最低米貨30,000ドルとする。 パッケージ・グラントは、財団とその協力組織が開発する。財団と協力組織が資金を100パーセント提供し、ロータリアンが補助金プロジェクトの実施にあたる。

1. クラブはどの重点分野に主に取り組みますか。

2. クラブと地区が開発したグローバル補助金とパッケージ・グラントのどちらに対し、クラブは関心を寄せるでしょうか。

3. 海外の共同提唱者を見つけるには、どのような方法がありますか。

国際問題研究のためのロータリー・センター	平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターのいずれかに留学し、紛争解決、平和研究、国際関係、およびその関連分野における修士号を目指す機会、あるいは紛争解決および平和研究分野で職業開発修了証を取得するための機会を世界平和フェローに提供する。

1. 地域社会で資格を備えた申請者をどのように集めますか。

2. プログラムの申請書を審査する際、クラブではどのような手順を取っていますか。

3. 過去の参加者や現在の参加者が留学を終えて帰国した後に、ロータリーにどのようにかかわってもらいますか。クラブは教育的プログラムの学友について、どのように記録をつけていますか。

補遺A：クラブ委員会構成の見本

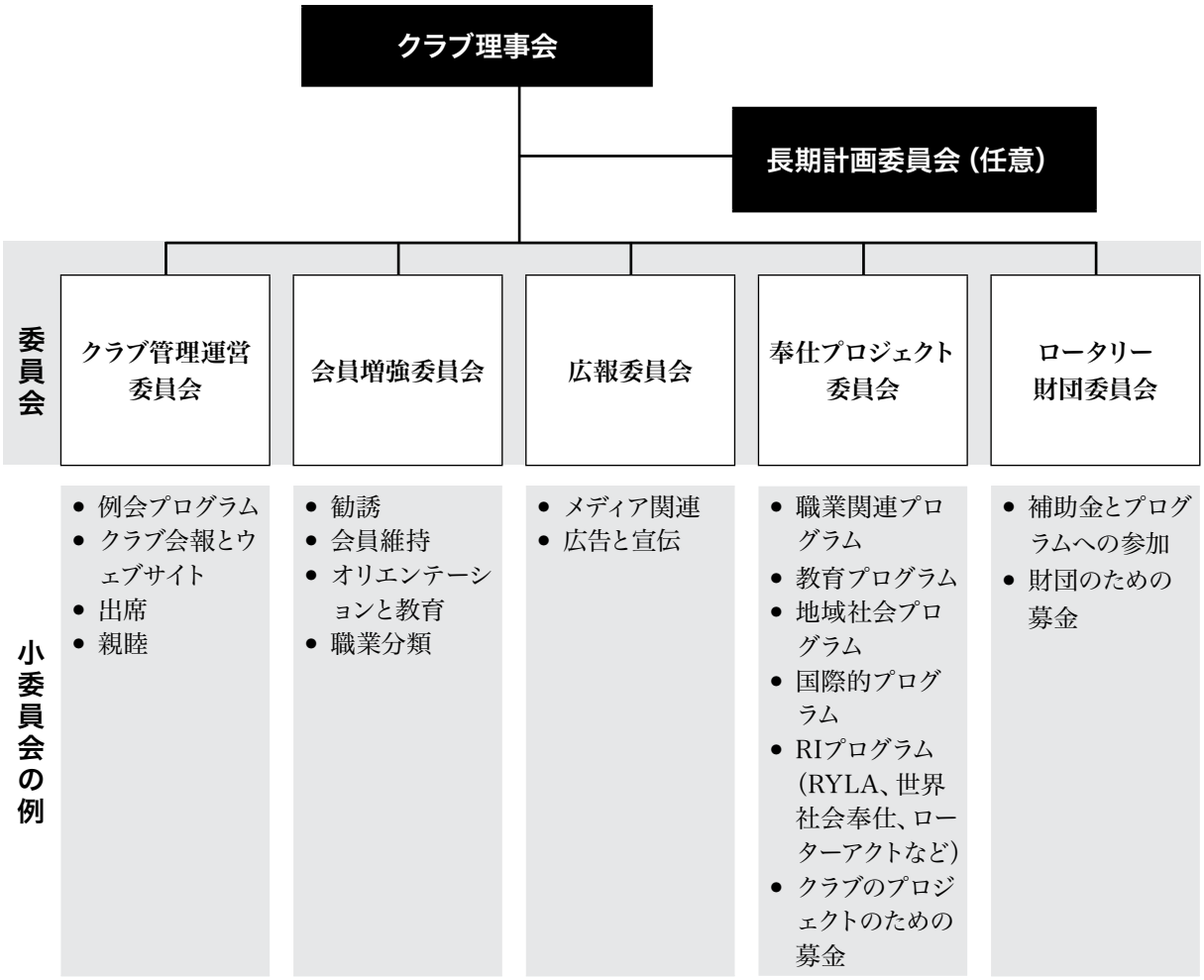
お忘れなく

各ロータリー・クラブは、クラブ目標と運営ニーズに基づく独自の委員会構成を設定します。

クラブ・リーダーシップ・プランでは、5つの常任委員会が推奨されています。各クラブは、クラブ独自の関心や継続中のプロジェクトに応じて、このほかの委員会や小委員会を追加することができます。また、クラブが特定の活動に参加していない場合は、該当する委員会や小委員会を削除することができます。

以下は各常任委員会の下に設置する小委員会の見本であり、クラブの会員数に応じて自由に編成することができます。クラブのほかの指導者と協力しながら、クラブの必要性や目標に沿った構成を選び、必要に応じて委員会を追加、移動、削除するなどして、独自に委員会・小委員会構成を作り出してください。適切な小委員会を判断する上でアドバイスや情報が必要な場合は、ガバナー補佐または地区ガバナーに相談してください。

オプション1：標準ロータリー・クラブ



オプション2：規模の大きいロータリー・クラブ

クラブ理事会

長期計画委員会（任意）

委員会	クラブ管理運営委員会	会員増強委員会	広報委員会	奉仕プロジェクト委員会	ロータリー財団委員会
小委員会の例	● 週例プログラム ● クラブ会報 ● ウェブサイト ● 倫理 ● 出席 ● 資料の保管 ● 親睦 ● ロータリー家族 ● 会場監督	● 勧誘 ● 会員維持 ● 教育 ● 個人（メンター）指導 ● 会員増強の評価と活動計画 ● 職業分類	● メディア関連 ● 広告と宣伝 ● 特別行事 ● 対外関係 ● ウェブおよびソーシャルメディア	● 職業関連プログラム ● 教育プログラム ● 人道的プログラム ● 地域社会プログラム ● 国際的プログラム ● RIプログラム（RYLA、世界社会奉仕、ローターアクト） ● クラブのプロジェクトのための募金 ● 進行中のプロジェクト	● 学友 ● 年次寄付 ● 新地区補助金 ● グローバル補助金 ● 恒久基金 ● ポリオ・プラス ● 国際問題研究のためのロータリー・センター

オプション3：規模の小さいロータリー・クラブ

クラブ理事会

長期計画委員会（任意）

委員会	クラブ管理運営委員会	会員増強委員会	広報委員会	奉仕プロジェクト委員会	ロータリー財団委員会